

たすり書道教室 二〇二四年四月 (令和六)

臨書の
すすめ



臨書とは、書の古典をお手本にして真似て書くことです。現代の書家の作品や、教室講師の私がお稽古で書いたお手本を真似て書くことは、ふつう臨書とはいいません。

現代に至るまで名品として鑑賞・研究されてきた古典は、必ず学ぶべき点があります。さまざまな書体・書風のものがあり、書道という芸術の多様性や歴史を感じることで、かてきます。現在「きれいな」整った」とみなされる字を、目指すだけでなく、時には違う書風の古典を臨書してみらると、難しいながらも楽しいですよ。

作品紹介

な
花
の
小三

「な」と「花」の位置かすれたのが、情しい。三字すべて字形筆づかい良。

天
玄
地
黄

「黄」の第四画が終筆で少し下に下がる安定する。丁寧な書きぶり。

★小中学生 四月の課題★

小三

小四

土木

ふじ井り石

目元

ふじ井り石

小五

中学生

和風

ふじ井り石

谷間

藤井瑞石

全集を
読む

藤井瑞石